

四万十地区より



新スタイルのシェアカフェで

お待ちしております♪

鈴木 弘平さん(31)

窪川駅の目の前にある「sotoffice」。お昼は日替わりで違う店舗がランチを提供、夜は居酒屋やbar、イベントを行うなど、新しいスタイルのシェアカフェとして昨年10月にオープンしました！

オーナーの鈴木さんは神奈川県出身で、東京のIT企業に勤めており、リモートワークができる時代に「ITをしながらいろいろなことに挑戦してみたい」という思いから、1年前に四万十町に移住されたそうです(^^) 実は会社の社長さんが四万十町のことが大好きで、東京で四万十町会によく参加し、地元の人たちとの交流をしていたこともきっかけとなったそうです♪

鈴木さんは「sotoffice」とITの他にキャンプ事業などさまざまなイベントを主催。「町内の人や町内移住者が集まるコミュニティの場になってほしい」と思いを語ってくれました。これからも四万十町をどんどん盛り上げていってください！鈴木さんの活躍を応援しています♪

月～金 7:30～14:00
土日祝夜 不定期（※割と開けてます）



詳細は
Instagramで♪



大野見地区より



なんの看板でも作れるで～！

下元 慎也さん(54)

大野見神母野で「みどりや」を経営されている明るく気さくな慎也さん。「みどりや」は1932年創業以来、祖母の代から続いており慎也さんで3代目となります。2011年から始まったからあげの移動販売は週に3日間、みどり市、とさこ広場、葉山、の各場所で大人気です♪

慎也さんは看板を作ることが好きで、店内には1000枚以上のレトロなお洒落な看板が！今は看板2000枚を作ること目標にしているそうです！他にも店内には手作りの全自動販売機があり、手でいろいろなものを販売しています！「みどりやも移動販売もたくさんの人に喜んでいただけるように続けていきたい」と想いを語ってくれました。みどりやの美味しいからあげを、毎週みんなが楽しみに待っています♪



下元さん手作りの
全自動販売機



津野山バイキングお披露目会！

中央小学校5年生と地域のみなさん

津野町立中央小学校5年生が総合学習で野菜を栽培し、「せっかく作った野菜をおいしく食べてもらいたい！」と、子どもたちが調べて考えたメニューを使った「津野山バイキング」を開催。野菜づくりや調理方法などでお世話になった地域の方々を招待し、お披露目と試食会を開きました。

初秋に種まきを行い、立派に育った野菜と地域で作られたこんにやくなどを使用し、自分たちで調べて調理も練習したそうです。こんにやくの唐揚げが一番人気♪大根モチモチや春菊・チンゲン菜の和え物など、どれを食べてもとてもおいしく、参加した地域のみなさんも大喜び！「私達でも作ったことがない料理も、上手に作れていておいしい♡」と大絶賛！作った子どもたちも、とても嬉しそうに笑顔がこぼれます。

地域との関わり出合いを大切に学びに活かし、とても素敵な取り組みだと感じました。これからも精力的に活動を続けてください。



5 四万十地域 笑って健康に 女性部リフレッシュ講座を開催



女性部にバナナの叩き売り実演を行っています。

11月11日、四万十地区女性部は、農協会館でリフレッシュ講座を開きました。講座ではしんと町社会福祉協議会がゴムバンドを使った健康体操を行い、興津支部の村田理香さん、東又支部の武市由美さんが各支部の取組発表を行いました。その後「土佐の寅さん」として親しまれる漫談家の間六口さんを招いて「笑いは健康常備薬」の講演でバナナの叩き売り実演！会場は終始笑顔で溢れていました。

福永早苗部長は「ゴムバンド体操で体を動かすことができ、間さんの講演では会場が笑顔になり、とてもリフレッシュできた講座となった。」と話しました。

6 津野山地域 梶原高校出前授業 ゆず収穫体験



生徒たちがユズを収穫しています。

11月10日、梶原高校の農業コースを選択している2・3年生がゆずの収穫体験を行いました。授業では津野山地域のユズの特徴や出荷量についての講義を行い、その後氏原和美さん、かんさんの園場で収穫体験！氏原かるさんは「若い人達が地域の農産物を自ら体験してくれて嬉しい。収穫をしてくれることで助かります。」と笑顔で話されました。その後自分たちで収穫したゆずを絞りゆずジュースを試飲しました。今後とも農家さんに協力をいただき、津野山地域の野菜や特産品、農業について出前授業を続けていきます。

3 四万十地域 第4回JA高知県 肉牛枝肉共励会



表彰を受ける堅田雅仁さん

11月14日、高知県広域食肉センターでJA高知県肉牛枝肉共励会が開催されました。この共励会は、肉用牛の肥育技術の確立と枝肉の肉質向上に資するために行われており、今回は県下より27頭の出品がありました。日本食肉格付協会の規格に基づいた厳正な審査の結果、黒毛和種で堅田雅仁さんが優秀二席、褐毛和種でも堅田雅仁さんが優秀三席、審査員特別賞（TRB）には有限会社鈴木さん、審査員特別賞（オレイン酸）には一般社団法人津野山畜産公社が選出されました。これからも、高品質でおいしい土佐和牛の生産を期待しています。おめでとうございます！

4 津野山地域 津野町の農業を考える ～中央小学校の取り組み～



受け取ったポスターと中上さん



津野町立中央小学校6年生は、総合学習で津野町の農業について調べ、課題の抽出から課題解決にはどういった事が必要なのか、ということを通して学び、この度活動成果として、ポスターと動画を作成しました。

「自分たちの住んでいる地域の農業をこれからどうすればいいのか、たくさんの人に活動内容を知ってもらい、地域の農産物を食べてもらいたい。そんな想いの詰まったポスターを、この日代表して中上紗奈さんから受け取りました。

早速津野山営農経済センターに掲示させていただきます。お客さんにも見ていただいています。」

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



受賞おめでとうございます！

1 四万十地域

高知県豚枝肉共進会 (株)山中畜産が農林水産大臣賞を受賞！

高知県養豚協会と幡多地区畜産振興協議会、県畜産会は10月29日、四万十市で第21回県豚枝肉共進会を開きました。

同共進会は肉豚の肥育技術の確立と枝肉の肉質向上を目的に毎年開いており、今年は県内3地区より去勢57頭、雌59頭合わせて116頭の出品がありました。その中から「極上」、「上」に格付した去勢、雌の上位各6頭ずつを審査委員が、肉付きの良さや全体的なバランスなどの外観、肉色や脂質の色、締まりなどの肉質における8項目で判定し審査。日高洋介審査委員長は「今年の上物率は78・4%だった。昨年より上物の頭数は少し減少したものの品質の良さと昨年を上回るものもあった」と講評しました。

審査の結果、雌の部で最優秀賞を受賞した四万十町の(株)山中畜産が農林水産大臣賞を受賞しました！山中畜産の山中翔太代表は「受賞したことは励みになります。四万十ポーク米豚をもっと認知してもらえよう頑張ります！」と受賞を喜んでいました。



優良品が多数出品されました。

2 津野山地域

第58回茶品評会表彰式 & 土佐茶まつり

土佐茶振興協議会は11月23日、高知市のJAビルで「第58回高知県茶品評会」の表彰式を開きました。

同協議会は7月に今年度の品評会を行い、県内主産地から40点出品され、審査員が外観水色、香氣、滋味の観点で審査し、7点が受賞。「優良賞」には津野山生産組合の坂本健一さん、野本拓路さんが受賞されました。おめでとうございます！

審査員長の高知県農業技術センターの岡村裕一議長は「上位の物は煎茶特有の爽快感と香りの

良い「みる芽香」を感じさせる秀品が揃っていた」と講評。同協議会の品原伸会長は「千ばつの影響や摘採遅れなども見られたが、生産者の皆さんの努力の成果で安定した品質物ものができた」と話しました。

同日とさのさとは土佐茶まつりが開催され、津野山営農経済センターからかぶせ茶ロールケーキなどお茶の販売を行い、会場は多くのお客さんで賑わいました。春の茶収穫に向けて、生産者の皆様も良質な茶葉の生産するため日々作業に励んでいます。

津野山地域より

農作業機械 使用の注意点



令和2年の統計によると、国内において農業機械作業に係る事故で186名の方が亡くなっており、そのうち乗用型トラクターによる事故では81名の方が命を落としています。（農林水産省調べ）

乗用型トラクターを走行中、圃場や道路から転落する事故が多くを占めており、慣れた作業であっても事故防止のための注意が必要です。

●道路走行時の左右ブレーキ連結

乗用トラクターのブレーキは、左右が分かれているため小回りが効き便利です。しかし、圃場からの出入りや、道路走行時に連結操作を忘れ、転落・転倒する事故が多く発生しています。

そこで作業中の以下のような場面では忘れずにブレーキ連結を確認しましょう。

- ①圃場へ出入りする
- ②移動走行する
- ③傾斜地で作業を行う
- ④畦を乗り越える



●シートベルトを着用しましょう

安全・キャブフレームのあるトラクターでもシートベルトを着用しなければ、転倒した際に身体が固定されないため、身を守ることができません。

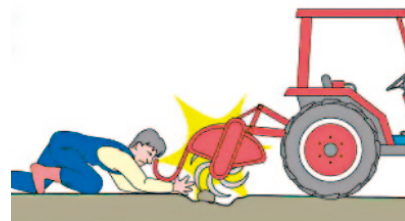


●作業機の下は危険

トラクター作業中にロータリーなどの作業機から異音があると、慌てて機械の中や下をのぞき込みたくなります。

これは非常に危険ですので、必ず安全な状態にして、点検整備を行いましょう。作業機を点検する際は必ず以下の対策を実施してから行ってください。

- ①作業機を上げます
- ②昇降部の油圧ロックを掛けます
- ③駐車ブレーキを掛けます
- ④エンジンをOFFにします
- ⑤ブロック等を作業機の下に入れて、支えにします



◎お問い合わせ先

津野山営農経済センター経済課（TEL.0889-62-2335）



えい|の|う|～

四万十地域より

生姜の土壌消毒について

《生姜栽培における土壌消毒の必要性》

生姜栽培には根茎腐敗病をはじめとする土壌伝染性病害がいくつかあり、その発生程度によっては、収穫皆無になってしまったり、翌年同じ圃場で栽培することが出来なくなることもあります。

これらを防止するためには、植え付け前の土壌消毒の実施が必要不可欠であり、防除効果を高めると同時に薬害防止に気を付けることも重要になってきます。

今回は、土壌消毒剤の中でも比較的使いやすい、ダズメット粉粒剤（商品名：バスアミド微粒剤またはガスタード微粒剤）の使用に際してのポイントを記述していきますので、これから土壌消毒を実施するにあたり参考にしてください。

【土壌消毒剤：ダズメット微粒剤の特徴】

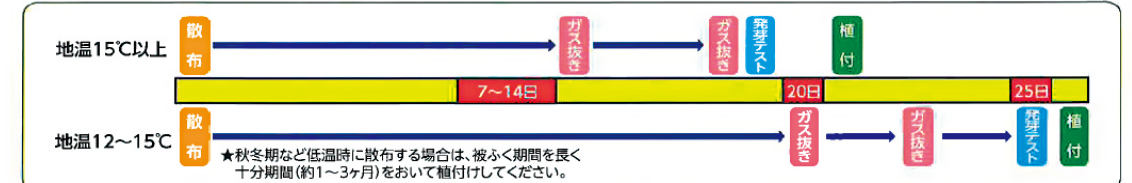
- ①刺激臭が少なく使いやすい
- ②粒剤なので散布が簡単
- ③広範囲の土壌病害・線虫類に効果があり、雑草処理にも有効

注意点

- 土壌の水分に反応して効果を発揮するため、処理時には土を握って塊が崩れない程度の水分状態がベスト
- ガス抜きには、10～14日と比較的長い期間が必要
- ※薬害回避の為に、被覆資材除去後に一定の降雨にあてることや、発芽テストを行うことも有効

登録内容	対象病害虫等	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
生姜	・根茎腐敗病 ・一年生雑草	30～60kg/10a ※1年生雑草が対象の場合は20～30kg/10a	定植 21日前まで	1回	所定量を均一に散布して土壌と混和する

■散布から植付までの目安



■散布から植付までの作業手順

1 土壌水分の調整と整地 ●雑物の残さ等を取り除いてください。 ●砂土はよい状態にしてください。 ●土壌が乾いている場合、予め散水して土壌水分を整えてください。	2 適切な土壌水分量 ●水分がないと分解しません。土を握って形が崩れない程度の土壌水分。	3 均一散布 ●バスサンパー等の散布器具で均一に散布してください。 ※吸気付防護マスク・ゴム手袋・長ズボン・長袖の作業衣・ゴム長靴等を着用してください。	4 ロータリーで混和 ●土壌混和は15～25cmの深さまで十分に混和してください。	5 散水 ●水分が不足すると分解が遅れて結果不足や薬害の原因にもなるため必要に応じて散水してください。										
6 表土を被ふく ●ただちにビニール等で被ふくしてください。	地温による被ふく期間の目安 <table border="1"> <tr> <th>地温</th><th>被ふくの日数</th></tr> <tr> <td>25℃以上</td><td>7日～10日</td></tr> <tr> <td>20℃</td><td>10日～14日</td></tr> <tr> <td>15℃</td><td>14日～20日</td></tr> <tr> <td>10℃～15℃</td><td>20日～30日以上</td></tr> </table>	地温	被ふくの日数	25℃以上	7日～10日	20℃	10日～14日	15℃	14日～20日	10℃～15℃	20日～30日以上	7 ガス抜き(最低2回) ●散布後ビニール除去後に第1回のガス抜きを行い、その2～3日後に再度行って、完全にガス抜きをしてください。	8 発芽テスト ●ガスが完全に抜けたかどうか、レタス、だいこん、カラシナ等のタネを用い発芽テストをしてください。	9 施肥・植付け ●必ず無病の苗を用いてください。 ●堆肥は完熟堆肥を使用してください。
地温	被ふくの日数													
25℃以上	7日～10日													
20℃	10日～14日													
15℃	14日～20日													
10℃～15℃	20日～30日以上													

お問い合わせ先 四万十営農経済センター購買課
TEL.0880-22-5178 FAX.0880-22-5177

